



オーダーウォッチ〈為替指値注文取引〉

ご希望の為替レートになったら自動的に取引を実行。

オーダーウォッチは、ご希望の為替レートになったら、SMBC信託銀行がお客さまに代わって自動的に取引を実行するサービスです。

取引したい為替レートをあらかじめご指示いただくだけで、約定時には自動的に取引できる手軽さです。

為替相場がお客さまの意に反して急変した場合でも、「ストップオーダー」注文で損失を限定することが可能です。

ご注文の有効期限は最長180日。期限まで、お客さまの相場観やマネープランに合わせて指値を自由にキャンセルできます。

サービス概要

お客さまが、現在の相場では取引を希望しない場合、あらかじめご希望のレートを注文しておく、市場実勢レート*がご注文のレートに達した時点で、為替手数料を加えた「取引レート」で取引を実行するサービスです。

*当行が銀行間市場で得られる為替レートをもとに決定するレート。

指値の注文	注文タイプ	ストレートオーダー、ストップオーダー、OCO
	取扱通貨(対円のみ)	米ドル、豪ドル、ニュージーランドドル、英ポンド、カナダドル、スイスフラン、ユーロ、香港ドル、ノルウェークロネ、南アフリカランド、シンガポールドル
	取引金額	50万円相当額以上5億円相当額まで
	レート	0.1円単位
	有効期限	注文の受付翌日から最長180日(日曜、1月1日を除く)で指定できます。指定日の午前7時までを有効とし、期限を過ぎると注文は自動的に失効します。
注文の変更・取消し	注文の約定前に限り受け付けます。 *約定した指値については、変更・取消しはできません。*注文の変更ができるのは有効期限のみです。*相場状況によっては、指値注文の変更・取消しをお受けできない場合があります。	
受付チャンネル	プレステシアの支店・出張所、プレステシアホン バンキング、プレステシア オンライン	
注文受付時間	原則として24時間365日 *各国の休日などにより、お取引できない時間帯があります。*支店でのお取引は各支店営業時間内となります。	
オーダーモニタリング時間 (指値レートに達したか 否かを判定する時間)	原則として月曜日午前7時～土曜日午前5時 *各国の休日などにより、モニタリングできない時間帯があります。	
注文状況の確認先	プレステシアの支店・出張所、プレステシアホン バンキング、プレステシア オンライン	

オーダーウォッチの注文は、外貨の「買い」と「売り」の2サイド。
 注文方法はご希望に応じて3タイプをご用意しています。

注文タイプ

買い 円を外貨に替える

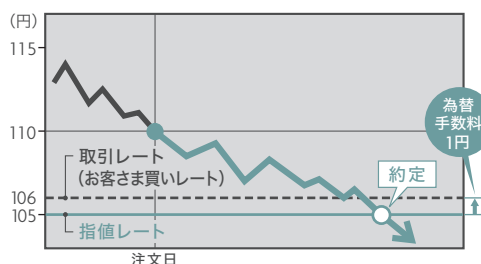
売り 外貨を円に替える

ストレート オーダー

最も一般的な指値注文。
 現在よりも有利な為替レートを指定し、より大きな為替収益をねらう注文方法です。
 「買い」のときはより円高水準で、「売り」のときはより円安水準で注文します。

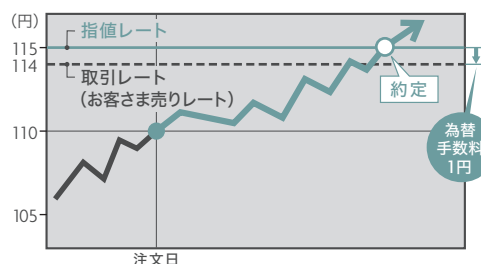
現在よりも円高のレートで外貨を買うための指値注文です。

例 1米ドル110円のときに、「市場で1米ドル105円になったら米ドルを買い（円を米ドルに替えたい）」と注文。後日、実勢レートが105円に達したので、取引レート（106円）で約定した。



現在よりも円安のレートで外貨を円に戻すための指値注文です。

例 1米ドル110円のときに、「市場で1米ドル115円になったら米ドルを売り（米ドルを円に戻したい）」と注文。後日、実勢レートが115円に達したので、取引レート（114円）で約定した。

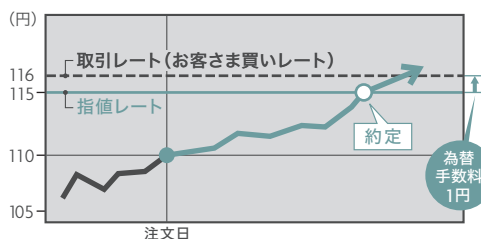


ストップ オーダー

損失を一定額以上に拡大させないための指値注文。
 現在よりも不利な為替レートを指定します。

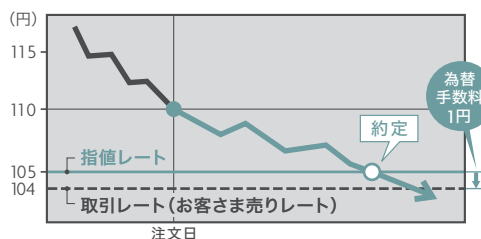
外貨購入の機会をねらっているとき、ある水準以上円安になった場合、さらなる円安のレートでの購入を未然に防ぐための指値注文です。

例 1米ドル115円を上抜けたらドル高円安がさらに進みそうなので、いまより不利ではあるが115円になったらドルを買い、さらなる円安局面を期待したい。そこで、1米ドル110円のときに「市場で1米ドル115円になったら米ドルを買い」と注文。後日、実勢レートが115円に達したので、取引レート（116円）で約定した。



外貨を保有しているとき、ある水準以上円高になった場合に発生しうる損失を未然に防ぐための指値注文です。

例 1米ドル105円になったら保有している米ドルを売って（円に戻して）一旦損失を確定し、これ以上の損失拡大を防ぐとともに、次のドル買いのタイミングを待ちたい。そこで、1米ドル110円のときに「市場で1米ドル105円になったら米ドルを売り」と注文。後日、実勢レートが105円に達したので、取引レート（104円）で約定した。

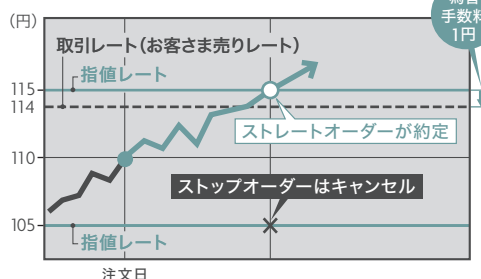


OCO (オー・シー・オー / One Cancel the Other)

「ストレートオーダー」と「ストップオーダー」の同時指値注文。
 どちらかの注文が先に成立した時点で、もう一方の注文が自動的にキャンセルされます。

相場が円高・円安どちらに動いても、外貨を円に戻す／円を外貨に替える機会を逃さないように、「ストレートオーダー」と「ストップオーダー」を同時に注文するものです。

例 1米ドル115円になったら米ドルを売って利益を確定したいが、115円に届かず逆に（円高に）なってしまったときは105円で米ドルを売って一旦円に戻し、それ以上の円高による損失拡大を防ぐとともに、次のドル買いのタイミングを待ちたい。そこで、1米ドル110円のときに「市場で1米ドル115円（ストレートオーダー）または105円（ストップオーダー）になったら米ドルを売りたい」と注文。後日、実勢レートが115円に達したので、取引レート（114円）でストレートオーダーが約定した。同時に、ストップオーダーは自動的にキャンセルになった。



*OCO（オー・シー・オー）取引では、ストレートオーダーとストップオーダーを、異なる金額で注文することが可能です。
 （例：ストレートオーダーは1米ドル115円で20,000ドルの売り、ストップオーダーは1米ドル105円で15,000ドルの売り注文、など）


【指値レートと取引レートの考え方】

「指値レート」とは、お客さまが取引を希望される為替レート（外国為替市場の実勢レートで目標とする値）です。指値注文が約定すると、指値レートに為替手数料が加わった「取引レート」で通貨交換が実行されます。


例 米ドル買い指値の場合：1ドル105円の指値レートが約定すると、取引レートは106円

例 米ドル売り指値の場合：1ドル115円の指値レートが約定すると、取引レートは114円


このようなお客さまにおすすめします。




24時間取引されている外国為替市場で、外貨の買い時、売り時のチャンスを逃したくない方。



忙しくて頻繁に為替レートのチェックができない方。



為替による損失を、一定額に抑えたい方。



相場の先行きに期待しすぎて、売買のチャンスを逃しがちな方。

お申込みからご注文成約まで

1 資金のご用意

プレスティア マルチマネー口座円普通預金もしくはプレスティア マルチマネー口座外貨普通預金に、資金をご用意ください。

2 オーダーウォッチのご注文

支店・出張所、プレスティアホン バンキングまたはプレスティア オンラインでご注文ください。

ご注文
内容

●オーダータイプ(ストレートオーダー、ストップオーダー、OCO) ●通貨(取扱外貨もしくは円) ●買い/売り ●金額
●ご希望の指値レート(0.1円単位)* ●注文有効期限(最長180日)

*支店・出張所、プレスティアホン バンキングでのご注文:ご希望のレートが、市場実勢ベースの「指値レート」か為替手数料を加えた「取引レート」かを、明確に担当者にお伝えください。

*プレスティア オンラインでのご注文:市場実勢ベースの「指値レート」でご入力ください。

3 お取引の実行

ご注文の有効期限内に、実勢レートがご注文の指値レートに達した場合、為替手数料を加えた「取引レート」で取引を実行します。有効期限内にご依頼の為替レートに達しなかった場合、指値は無効となります。

4 約定内容のご報告

ご依頼いただいた指値が約定し、実行された取引内容は、お取引明細書でご確認いただけます。また、ご登録のアドレスにメールをお送りいたします。

*プレスティア アラートサービスにご登録いただいているお客さまに限ります。

*支店・出張所、プレスティアホン バンキングまたはプレスティア オンラインでもご確認いただけます。

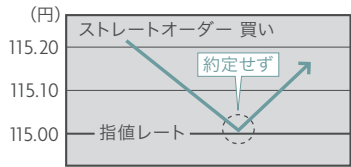
指値レートによっては、ご注文をお受けできない場合があります。

当行の指値注文の管理上、指値レートが現在の市場実勢レートから上下それぞれ0.5%以内の場合、または、10%超の乖離をしている場合には指値注文をお受けすることはできません。ただし、市場動向等により、受付範囲は予告なく変更される場合があります。

次のようなケースでは、ご希望のレートでお取引が成立しない場合があります。

各種情報サービス業者等から提示される買値または売値は、あくまでも気配値であって、必ずしも市場において実際に取引されている価格を反映するものではありません。したがって、相場状況によっては、気配値が右記のような場合、指値は約定しない場合があります。

ご注文の為替レートに気配値が一瞬到達し、すぐに値を戻した場合



ご注文の為替レートでお取引を実行できない場合があります。

オーダーウォッチご利用上のご注意

〈指値の注文について〉

- 指値注文の設定期間中でも資金移動は可能ですが、指値注文が実行されたときに資金不足の場合は当該指値注文はキャンセルとなります。
- 指値注文設定中の資金は、プレスティア マルチマネー口座の普通預金金利が付利されます。
- 外貨から別の外貨へ交換するための指値はお受けしていません。
- 満期を迎えた定期預金等の資金は、満期日の翌営業日までは、オーダーウォッチの対象資金としてお申込みができない場合があります。

〈指値の実行について〉

- 相対通貨に交換された該当資金は、外貨の場合はプレスティア マルチマネー口座外貨普通預金、円貨の場合はプレスティア マルチマネー口座円普通預金に入金されます。

〈その他〉

- プレスティア オンラインにて、オーダーウォッチのプレスティア アラートサービスにご登録いただくと、eメールで下記の通知[※]をいたします。①指値の実行時 ②指値の失効(期限切れ)時
※プレスティア アラートサービスが未登録または停止されている状態の場合は、eメールの通知はされませんので、お取引明細書にてご確認ください。
- お取引明細書には、①注文中の指値、②実行した指値についてその内容が記載されますが、失効した指値、取消しされた指値の内容については記載されませんのでご了承ください。
- 「SMBC信託銀行取引規約集」の「オーダーウォッチ・サービス規定」には、本サービスをご利用いただくうえで重要な約定事項が記載されていますので、ご利用の前によくお読みください。

ご注意：外貨預金のお取引の前に、必ずお読みください。

〈外貨預金に関する注意事項〉

お取引にあたっては、最新の商品説明書を必ずご覧ください。商品説明書は店頭等にご用意しています。

元本割れリスク

- 外貨預金には、為替変動リスクがあります。外国為替相場の動向等によっては、払戻時の円貨額がお預入時の円貨額を下回る等、元本割れが生じるリスクがあります。
- TTSレート(円貨を外貨に替えるレート)とTTBレート(外貨を円貨に替えるレート)には差(米ドルであれば1米ドルあたり2円)がありますので、外国為替相場に変動がない場合でも、利息を含めた払戻時の円貨額がお預入時の円貨額を下回り、元本割れが生じるリスクがあります。

手数料

- 為替手数料：TTSレートとTTBレートには当行所定の為替手数料が含まれます(最大1外貨あたり片道1円/往復2円<米ドル等>)。
- 外貨現金取扱手数料：外貨現金でのお預入れまたはお引出しの場合は現金取扱手数料(1米ドルあたり2円、1ユーロあたり3円)がかかります。
- 送金等その他の手数料については、お取引内容により異なりますので、あらかじめ表示することができません。
- 各手数料等の詳細は店頭・お電話等でお問合せいただくか、手数料一覧をご覧ください。

その他の注意事項

- 外貨預金は預金保険の対象ではありません。
- 新興国通貨のお取引は、先進国通貨よりも相対的に大きなリスクが内在します。
- 外貨預金(外貨建送金の受取り等を含む)のご利用開始にあたっては、「プレスティア マルチマネー口座外貨普通預金」の契約締結が必要です。お手続きには数営業日かかります。店頭、インターネット、郵送にて余裕をもってお申込みください。

商号：株式会社SMBC信託銀行

◎SMBC信託銀行プレスティアでは、お客さまがどのくらいのリスクまで受け入れられるかを知っていただくために、「プロファイリング(資産運用に関するお伺い)へ」のご回答をお願いしています。プロファイリングにお答えいただくと、お客さまが受け入れられるリスクの度合いが「お客さまのリスク許容度(リスクスコア)」というカタチで数値化されます。お客さまのリスクスコアが商品のリスクレベルに適合しない場合、その商品のお取引はできませんので、あらかじめご了承ください。

◎ご紹介している商品・サービスは、当行の総合的判断により、お客さまに販売・提供できない場合がありますので、あらかじめご了承ください。

お問合せは、各支店・出張所またはプレスティアホン バンキングへ。

0120-110-330 (24時間365日受付) | 口座をお持ちでないお客さまは 0120-50-4189 | インターネットからは www.smbctb.co.jp

海外からは 81-46-401-2100 (有料)